



プレスリリース

報道関係者各位

TechMagic とキューピーが惣菜盛り付けロボットの共同開発を開始 惣菜工場の人手不足解消に向けて、低価格で導入可能なロボット開発を目指す

2021年10月26日

テクノロジーによる持続可能な食インフラの創造に取り組む TechMagic 株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：白木裕士、以下「TechMagic」）は、キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長執行役員：長南 収、以下「キューピー」）と「惣菜盛り付けロボット」について共同開発を開始することに合意しました。

低価格な惣菜盛り付けロボットを実現し、 惣菜工場の人手不足を解消する



- 惣菜を含む食品の高度な生産技術
- 実際の製造現場での技術の評価、検証
- 定量の惣菜を認識して盛り付ける知能化技術
- 不定形食材に適した独自ロボットハンドの開発

昨年度キューピーが実施事業者として採択された「令和2年度 革新的ロボット研究開発等基盤構築事業(※)（食品製造分野）」において、TechMagic はキューピーのパートナー企業のひとつとして惣菜自動盛り付けロボットのアーム、ハンド等の研究開発を担当致しました。本開発合意ではその事業での検討結果より明らかになった、技術課題を解決することを目的に、共同開発を進めるものです。2023年の惣菜盛り付けロボットの実用化を目標に、TechMagic とキューピーが連携を密にして研究開発を進めることに合意したものととなります。

※経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が2019年に立ち上げた「ロボット実装モデル構築推進タスクフォース」を引き継ぎ、「ロボットフレンドリーな環境構築のための取組案」を、ユーザーの業務プロセスや施設環境等に具体的にビルトインしていくことを目的とした事業。



惣菜工場において、前処理や加工の作業では機械化が進む一方で、盛り付け作業には未だに多くの人手が必要とされています。充填機などの既存のソリューションでは、多種多様な惣菜の容器への盛り付けを汎用的に行うことは難しく、大がかりな装置となり導入費用も高額となってしまいます。また、ロボットアームのような汎用機械を用いる新たな方法でも、ポテトサラダのような不定形の惣菜を人間のように素早く正確に計量して盛り付けること自体が技術的に非常に難しく、既存のロボット製品のインテグレーションによる実現は困難です。

TechMagic とキューピーは、ハードウェアとソフトウェアの両面からアプローチすることで、この課題を解決しようとしています。TechMagic は様々な惣菜を定量取得しやすいロボットハンドと、画像等のセンサ情報から定量の惣菜を取得するソフトウェアを開発しています。キューピーは惣菜の製造技術についての幅広い知見からこれらの技術を評価検証しつつ、実用可能な形へと発展させていきます。両社の技術により実用的で低価格な惣菜盛り付けロボットを実現し、惣菜工場の人手不足解消を目指しています。

過去の関連リリース：

[TechMagic 株がキューピーグループ等の惣菜盛付自動化に向けてロボットアーム、ロボットハンドの開発を担当](#)

■ TechMagic 株式会社 会社概要

社名：TechMagic 株式会社

本社：東京都江東区青海 2-5-10 テレコムセンタービル西棟 13 階

設立：2018 年 2 月

代表者：代表取締役社長 白木 裕士

URL: <https://techmagic.co.jp/>

TechMagic は、前 Google 日本法人名誉会長の村上憲郎をアドバイザーに、「テクノロジーによる持続可能な食インフラを創る」ことをミッションとして、2018 年 2 月に設立。食を取り巻く多くの企業が直面する人手不足を解消し、生産性の高い社会を実現するために、ハードウェアとソフトウェア両方の技術を高度に融合した各種プロダクトの企画、設計、製造、販売、保守を行っています。

■ TechMagic 株式会社 事業内容

1. 調理ロボット事業

主に大手飲食チェーン店の厨房内における一連の調理工程を、ハードウェアとソフトウェア両方の技術を高度に融合して自動化します。料理の味やおもてなし品質はそのままに、調理工程に付随する人件費を抑制し店舗生産性を高めます。業務軽減でなく、スタッフ一人単位の省人化を既存店舗でも導入可能なコンパクト且つ高効率なプロダクトで実現。顧客の用途に応じ、幅広い調理方法・提供プロセスに対応します。



2. 業務ロボット事業

セントラルキッチンや食品工場等で発生する、洗浄後の食器仕分け・不定形物を含む食品の定量盛り付け・食品加工・運搬等の単純作業をロボットにより自動化します。これにより、業務軽減と労務費用の削減だけでなく、施設業務全体のスループットを最大化し生産性向上に貢献します。

■ 本件に関するお問い合わせ

TechMagic 株式会社 広報杉山

pr@techmagic.co.jp